

令和 7 年 10 月 23 日
建設常任委員会資料

道 路 整 備 に つ い て

土 木 部

目 次

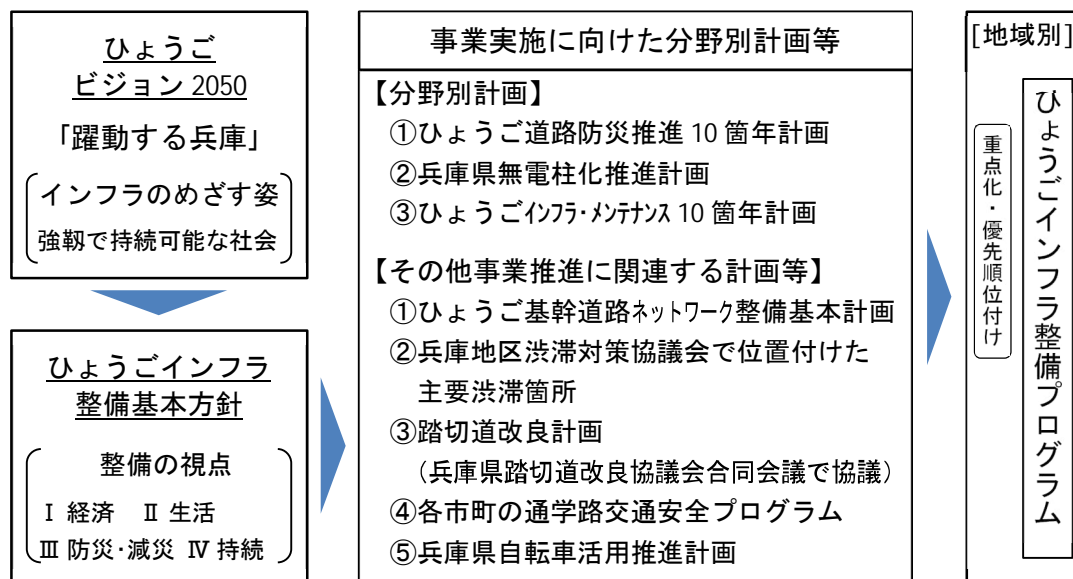
1	道路整備の進め方	3
(1)	基本方針	3
2	道路整備の取組状況	4
I	【経済】「経済」成長の実現	4
(1)	高規格道路ネットワークの充実強化	4
II	【生活】安全・安心で住みやすい県民「生活」の実現	13
(1)	安全安心な暮らしの実現	13
(2)	地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備	15
(3)	都市の環境改善	19
III	【防災・減災】「防災・減災」対策による自然災害に強い社会の実現	21
(1)	切迫する大規模地震に備える地震・津波対策	21
(2)	発災後の迅速な復旧・復興を支える緊急輸送道路等の機能強化	22
(3)	減災のための情報発信等	22
(4)	災害復旧	23
IV	【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による「持続」可能な社会の実現	25
(1)	計画的・効率的な老朽化対策	25
(2)	官民連携（参画と協働による維持管理）	31
(3)	カーボンニュートラルの実現	31
(4)	インフラ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	32
参考	道路整備の現況	34
(1)	道路整備の現況	34

1 道路整備の進め方

(1) 基本方針





1) ひょうごインフラ整備基本方針・ひょうごインフラ整備プログラム

『ひょうごビジョン 2050』に描く『強靱で持続可能な社会』の礎となるインフラの構築に向け策定した「ひょうごインフラ整備基本方針」の「Ⅰ経済、Ⅱ生活、Ⅲ防災・減災、Ⅳ持続」の4つの視点を基本に、緊急かつ重要な事業を盛り込んだ「分野別計画」等や「ひょうごインフラ整備プログラム」に基づき、選択と集中の徹底を図り、計画的に道路整備を推進していく。



2) 道路整備の取組

「ひょうごインフラ整備基本方針」に基づき、4つの視点、12の施策について、道路整備を推進していく。

Ⅰ【経済】「経済」成長の実現 施策1 高規格道路ネットワークの充実強化	 産業支援
Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民「生活」の実現 施策2 安全安心な暮らしの実現 施策3 地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備 施策4 都市の環境改善	 命を守る
Ⅲ【防災・減災】「防災・減災」対策による自然災害に強い社会の実現 施策5 切迫する大規模地震に備える地震・津波対策 施策6 発災後の迅速な復旧・復興を支える緊急輸送道路等の機能強化 施策7 減災のための情報発信等 施策8 災害復旧	 気候変動
Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取組み等による「持続」可能な社会の実現 施策9 計画的・効率的な老朽化対策 施策10 官民連携（参画と協働による維持管理） 施策11 カーボンニュートラルの実現 施策12 インフラ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	 まちづくり

2 道路整備の取組状況

I 【経済】経済成長の実現

県内外の広域的な交流・連携や地域の産業発展を促進する基幹道路八連携軸など高規格道路ネットワークの整備を推進する。

また、道路ネットワークの効果を活かすため、高速道路の持続的利用・利活用の取り組みを推進する。

(1) 高規格道路ネットワークの充実強化

- 1) 高規格道路の整備推進
- 2) 高速道路の持続的利用に向けた取組
- 3) 高規格道路の利活用の推進

(1) 高規格道路ネットワークの充実強化

1) 高規格道路の整備推進

高規格道路は防災、救急医療、企業活動や観光等に欠かせない重要なインフラであり、県全体の発展基盤となる基幹道路八連携軸を構成する路線について、「ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画」に基づき、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線、神戸西バイパス、東播磨道、北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道、東播丹波連絡道路の事業中路線の整備推進を図るとともに、播磨臨海地域道路の早期事業化に向けて取り組み、基幹道路八連携軸の2050年までの完成を目指す。

【基幹道路八連携軸の整備状況】

(令和7年10月1日)

軸 名 称		延 長 (km)				整備路線
		開通済	事業中	未着手	合計	
東西軸	日本海沿岸軸	23.2 (45.7%)	19.9 (39.2%)	7.7 (15.2%)	50.8	山陰近畿自動車道
	中国内陸軸	121.6 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	121.6	
	山陽内陸軸	127.8 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	127.8	
	阪神播磨臨海軸	141.3 (63.1%)	24.1 (10.8%)	58.5 (26.1%)	223.9	名神湾岸連絡線、大阪湾岸道路西伸部 神戸西バイパス、播磨臨海地域道路
南北軸	播磨因幡軸	33.7 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	33.7	
	播磨但馬軸	96.6 (95.0%)	5.1 (5.0%)	0.0 (0.0%)	101.7	北近畿豊岡自動車道
	播磨丹波但馬軸	52.2 (68.1%)	7.5 (9.8%)	17.0 (22.2%)	76.7	東播磨道、東播丹波連絡道路
	日本海太平洋軸	180.3 (100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	180.3	
合 計		776.7 (84.7%)	56.6 (6.2%)	83.2 (9.1%)	916.5	

注) 1 基幹道路は、自動車専用道路など一定のアクセスコントロールがなされた走行性の高い道路
2 各路線の延長は兵庫県内の延長である。
3 ルートの定まっていない路線については想定延長としている。

兵庫県の道路ネットワーク



【兵庫県 基幹道路八連携軸】

①大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド～名谷ジャンクション L=20.9km）

六甲アイランド北～駒栄 L=14.5km [直轄事業（道路・港湾）＋阪神高速事業]

- ・調査設計、用地取得、駒栄工区開削トンネル工事、六甲アイランド地区橋梁工事、新港・灘浜航路部の設計を実施中。
- ・早期完成に向けた事業推進を国、阪神高速に要望。



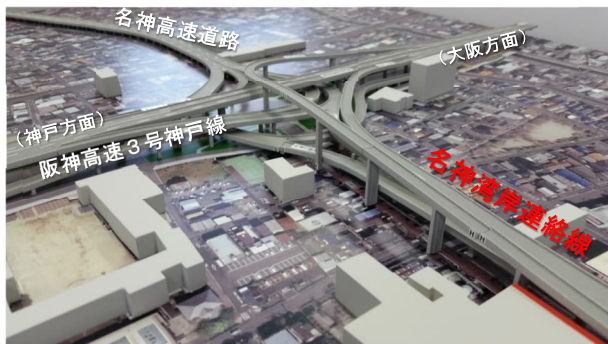
六甲アイランド地区（神戸市）



②名神湾岸連絡線（西宮市 L=2.7km）

[直轄事業＋阪神高速事業＋NEXCO 事業]

- ・令和6年3月有料道路事業導入。
（仮称）西宮 JCT・IC 及び（仮称）西宮浜 JCT・IC
の橋梁設計等を実施中。
- ・早期完成に向けた事業推進を国に要望。



（仮）西宮 JCT・IC 完成イメージ



③神戸西バイパス（神戸市垂水区～明石市 L=12.5km）

永井谷JCT～石ヶ谷JCT(自動車専用部 L=6.9km、一般部 L=4.4km)

[直轄事業＋NEXCO事業]

- ・埋蔵文化財調査、橋梁工事等を実施中。
- ・早期完成に向けた事業推進、一般部の着実な整備推進による専用部との同時開通を国、NEXCOに要望。



平野地区 橋梁下部工事（神戸市）

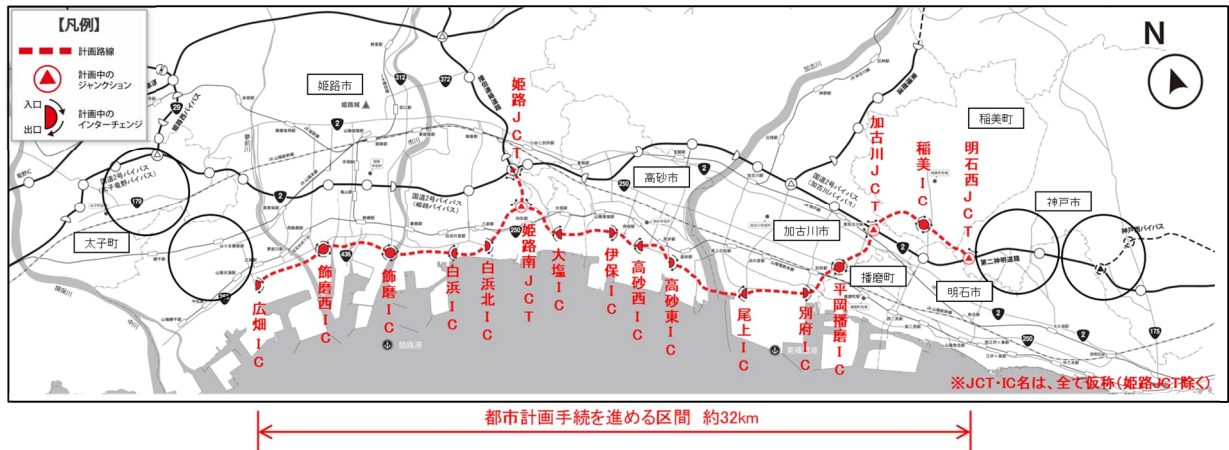


④播磨臨海地域道路（神戸市～太子町 L=約50km）

- ・第二神明～姫路市広畑※について、令和4年11月に国からルート計画案を手交。
- ・令和5年度から令和6年度にかけて、市町と連携し都市計画に係る住民説明会、個別説明会を実施し、令和7年6月には、公聴会を実施。

（参考）

- ・住民説明会：令和5年11月～令和7年3月（5市1町、計88回）
- ・公聴会：令和7年6月（計2回）
- ・早期事業化に向けた都市計画・環境影響評価手続への支援、早期完成に向けた有料道路事業導入等の検討を国に要望。※当面、都市計画・アセスを進める区間



⑤東播磨道（加古川市～小野市 L=12.1km）

北工区（八幡稲美ランプ～国道175号 L=6.9km）〔県事業〕

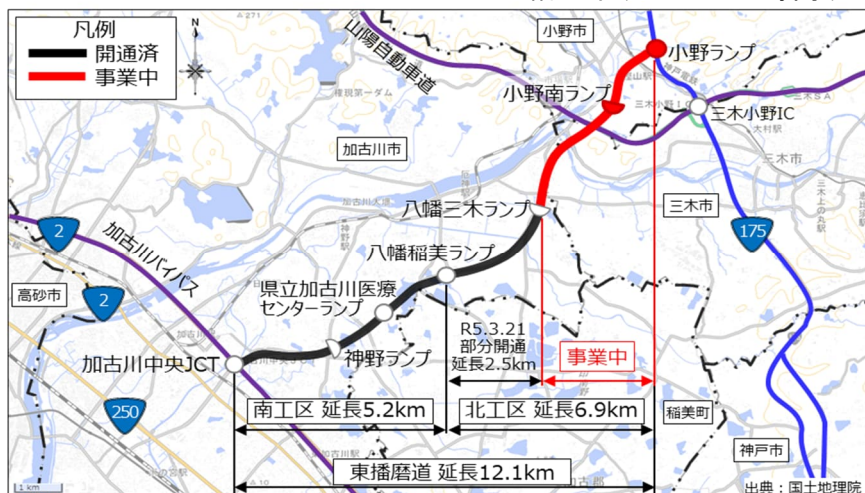
- ・八幡稲美ランプ～八幡三木ランプ間（L=2.5km）は令和5年3月に開通。
 - ・八幡三木ランプ～小野ランプ間（L=4.4km）は、舗装工事等を実施中。
- 令和7年秋頃に開通予定。



小野ランプ（小野市）



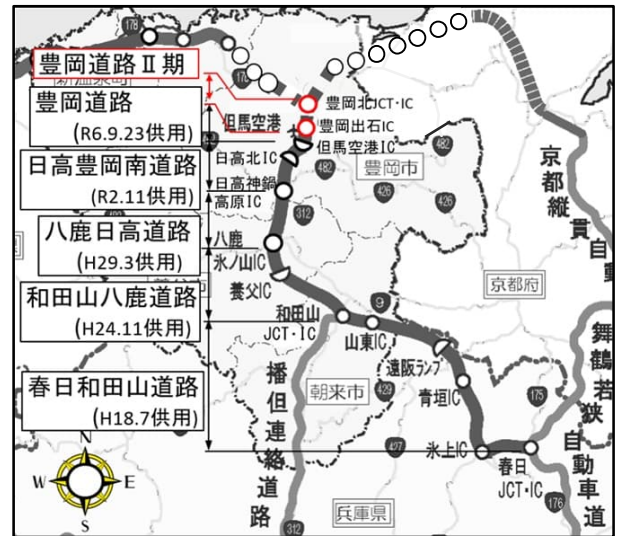
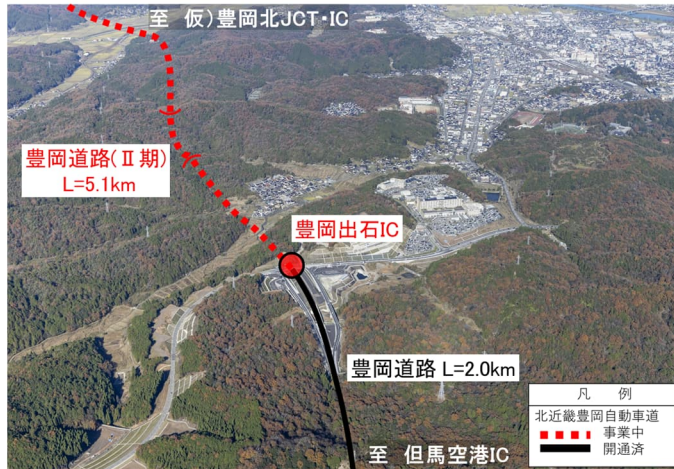
八幡三木ランプ～小野南ランプ（三木市）



⑥北近畿豊岡自動車道（豊岡市～丹波市春日町 L=73km）〔直轄事業〕

豊岡道路（Ⅱ期） L=5.1km

- ・調査設計、用地取得、改良工事、埋蔵文化財調査を実施中。
- ・早期完成に向けた事業推進を国に要望。



⑦山陰近畿自動車道（新温泉町～豊岡市 L=約51km）〔県事業〕

a 浜坂道路Ⅱ期（居組 IC～新温泉浜坂 IC）L=7.6km

- ・トンネル、橋梁上部、改良工事を実施中。

b 竹野道路（竹野 IC～豊岡北 JCT・IC）L=4.9km

- ・調査設計、用地取得、橋梁下部工事を実施中。
- ・令和 7 年 6 月 14 日に起工式を開催し、橋梁下部工事着手。

c 城崎道路（豊岡北 JCT・IC～城崎温泉 IC）L=7.4km 〔直轄権限代行〕

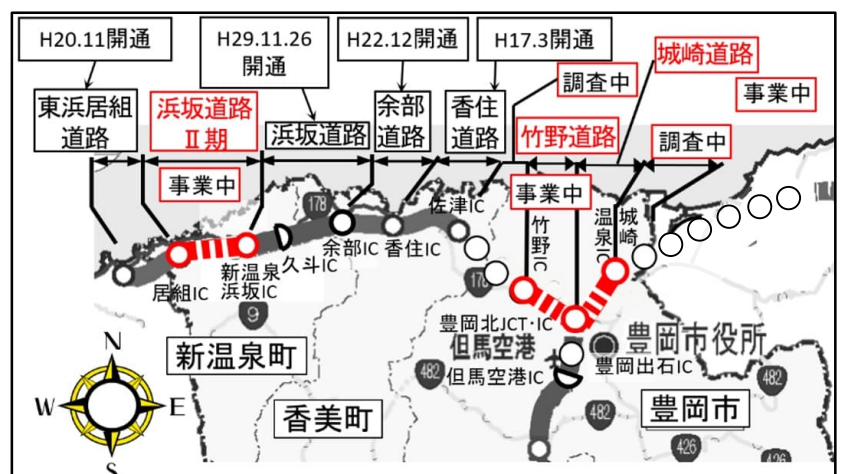
- ・調査設計を実施中。
- ・早期用地取得に向けた事業推進を国に要望。

d 佐津IC～竹野IC、城崎温泉IC～府県境

- ・未事業化区間の早期事業化に向けた調査費の予算確保を国に要望。



浜坂道路Ⅱ期 居組 IC 付近（新温泉町）



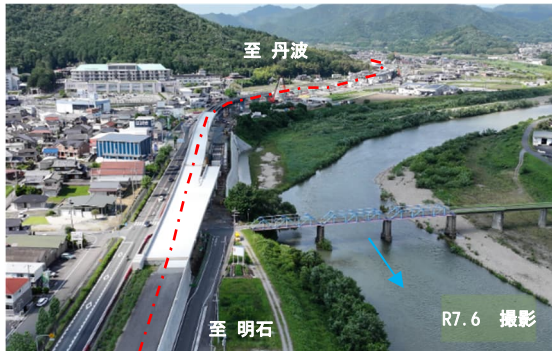
⑧東播丹波連絡道路（加東市～丹波市氷上町 L=約 30km）〔直轄事業〕

a 西脇北バイパス（西脇市下戸田～黒田庄町 L=5.2km）

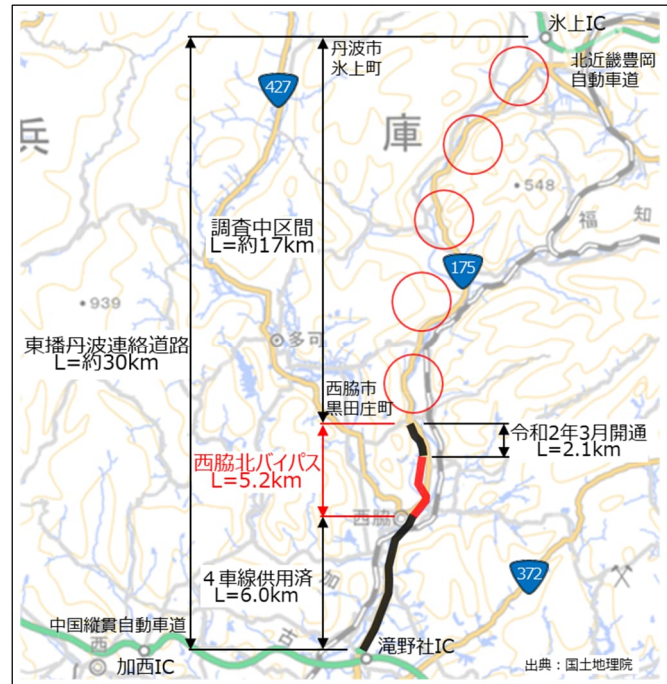
- ・橋梁上部、改良、舗装工事を実施中。令和8年春の確実な開通を国に要望。

b 西脇市黒田庄町～丹波市氷上地域（L=約17km）

- ・早期事業化に向けた調査推進を国に要望。



下戸田高架橋（西脇市）



トピックス①

東播磨道全線開通記念ウォークの開催

令和7年9月28日に、開通前の自動車専用道路上を歩く特別体験、「東播磨道全線開通記念ウォーク」を開催しました。小野市出身で元北京オリンピック日本女子代表（陸上中・長距離走）の小林祐梨子さんによるトークショーや、地域で活動する方々のパフォーマンスにより、会場は大いに盛り上がりました。

東播磨道は、平成11年度の事業着手から27年の歳月を経て、ついに完成間近となりました。全線開通をご期待ください。

【開催概要】

主催：兵庫県、東播磨南北道路建設促進期成同盟会の共催

参加者：約1,000人（約8,900人の応募者から抽選）

コース：①約2kmコース（小野ランプから小野南ランプまでを往復）

②約4kmコース（小野ランプから山陽自動車道を超える地点までを往復）

イベント：小林祐梨子さんトークショー、おの恋おどりと踊っこまつりによる演舞

別所ともえ太鼓会による演奏、小野高校書道部による書道パフォーマンス



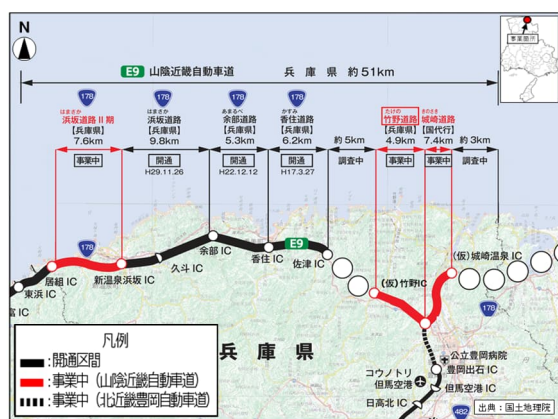
竹野道路の起工式開催

山陰近畿自動車道を構成する「竹野道路」については、令和3年度に事業着手し、これまで設計や用地買収を進めてきました。令和7年度に入り、本格的な工事に着手する運びとなり、工事の安全を祈念し、早期完成に向けた地元の機運醸成を図るため、令和7年6月14日に起工式を開催しました。

計画的な工事推進に必要な予算確保に努め、早期開通に向け取り組んでいきます。

【竹野道路を含む、山陰近畿自動車道の整備効果】

- ① 公立豊岡病院など高次救急医療機関へのアクセス改善
- ② 鳥取県や京都府との交流の促進
- ③ 物資輸送など災害にも強い道路網の形成



2) 高速道路の持続的利用に向けた取組

① 有料の高速道路における更新・進化の着実な実施

将来にわたり安全・安心な高速道路ネットワークを維持していくため、道路整備特別措置法等改正を踏まえた更新・進化事業を着実に実施するよう国に提案している。

② 利用しやすい高速道路料金の実現

必要なネットワーク整備を進めつつ、既に利用されている高速道路の機能を十分に発揮し、道路をより賢く使うため、利用しやすい高速道路料金の実現に向け国等と調整している。

a 阪神高速道路(株)

利用度合いに応じた公平な料金体系に向けて、平成29年から対距離制を基本とした料金が段階的に導入されている。

令和6年6月からは、阪神高速道路の利用状況や課題等を踏まえ、道路をより賢く使うため、新たな上限料金（普通車1,950円）の設定や各種割引の拡充（大口割引）・導入（深夜割引・都心迂回割引）を実施している。

b 本州四国連絡高速道路(株)

平成26年度の全国的な料金水準の見直しの中で、神戸淡路鳴門自動車道の通行料金についても、現行の水準となった（明石海峡大橋(垂水IC～淡路IC): 普通車(ETC利用)2,300円⇒910円）。

この料金水準は、平成 26 年度から当面 10 年間の時限措置とされていたが、令和 5 年度末に、今後 10 年間(令和 16 年 3 月 31 日まで)、現行料金水準を継続することが決定された。

c 兵庫県道路公社

播但連絡道路では、但馬地域と播磨地域の交流促進や観光振興を図るため、休日割引（3 割引・全線利用で 4 割引(普通車(ETC 利用)1,470 円⇒880 円)）や、NEXCO 等と連携した周遊割引を実施している。

遠阪トンネルでは、北近畿豊岡自動車道の延伸や大阪・関西万博の開催を契機に、観光資源が豊かな但馬地域と丹波地域の地域間交流の一層の促進、地域産業や観光振興などを目的に期間限定（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）で「軽自動車等」及び「普通車」を対象とした企画割引(普通車 320 円⇒300 円)を実施している。

なお、播但連絡道路においては、人件費や物価の高騰等による支出の増加が課題となっていることから、今後も安全で安心して利用できるよう管理運営のあり方等について検討を行っていく。

3) 高規格道路の利活用の推進

道路ネットワークの効果を最大限活用するため、スマートインターチェンジ（以下 SIC）や大鳴門橋自転車道の整備を推進する。

①スマートインターチェンジ（SIC）の整備

【事業中】

- ・(仮称)三木 SIC（山陽自動車道：三木市）
[市事業+NEXCO 事業]
改良工事を実施中。

【検討中（主なもの）】

- ・(仮称)相生 SIC（山陽自動車道：相生市）
市において調査を実施中。

【開通済】

- ・夢前 SIC（中国自動車道：姫路市）
- ・淡路島中央 SIC（神戸淡路鳴門自動車道：洲本市）
- ・宝塚北 SIC（新名神高速道路：宝塚市）
- ・淡路北 SIC（神戸淡路鳴門自動車道：淡路市）

②大鳴門橋自転車道の整備

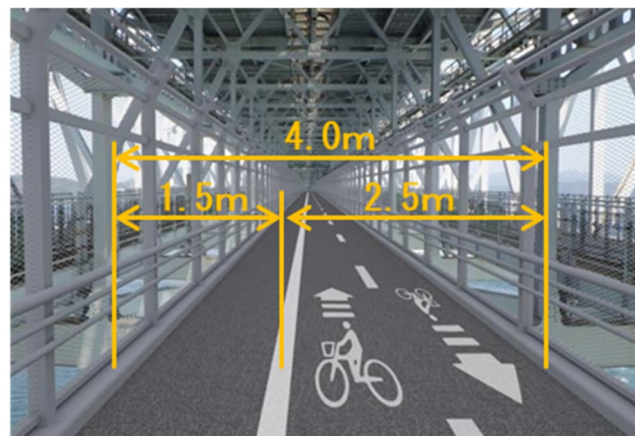
（南あわじ市～徳島県鳴門市 L=1.8km うち兵庫県分 L=0.9km）

[県事業(徳島県と共同)]

- ・令和 6 年 7 月 22 日に起工式を開催し、橋梁工事着手。令和 9 年度完成を目指す。



(仮称)三木 SIC 整備イメージ(三木市)



大鳴門橋自転車道の概要・整備イメージ

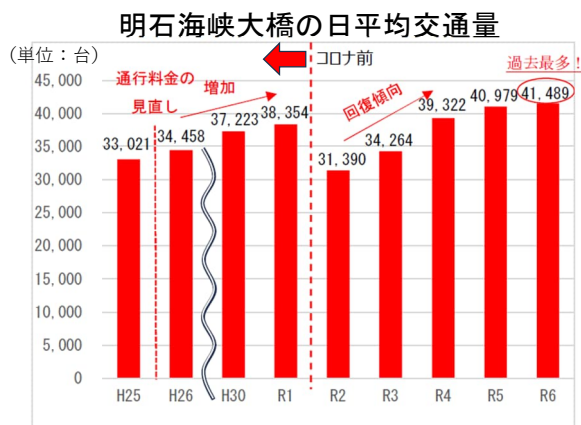
トピックス③

観光需要の拡大で明石海峡大橋の交通量が3億台を突破

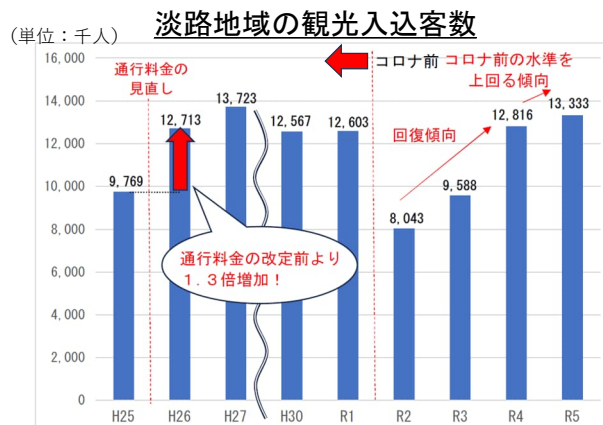
平成10年(1998年)4月に開通した明石海峡大橋(垂水IC～淡路IC)の通行台数が、開通から26年8ヶ月後の令和6年(2024年)12月に、累計で3億台を突破しました。

平成 26 年度に全国的な料金水準の見直しにより、明石海峡大橋(垂水 IC～淡路 IC)の通行料金が 2,300 円から 900 円（現在は 910 円）に引き下げられました。その後、交通量は徐々に増加し、令和 6 年度の日平均交通量が 41,489 台を記録し、3 年連続で過去最多を更新しています。

また、淡路地域における観光需要の増加に繋がる利用促進策として、サイクルイベントや本四道路活用イベントの開催などを行っています。淡路地域の観光入込客数についても年々増加傾向にあることから、引き続き利用促進策に努めていきます。



※本州四国連絡高速道路株式会社 HP の交通量データをもとに作成



※兵庫県観光動態調査報告書より

《サイクルイベントや本四道路活用イベントの開催状況》



淡路島ロングライド 150



明石海峡大橋 海上ウォーク

Ⅱ【生活】安全・安心で住みやすい県民生活の実現

安全安心な暮らしの実現を目指し、歩行者や自転車の通行空間を確保する。また、高規格道路を補完する幹線道路の整備や良好な市街地の形成を図る街路網の整備、円滑な交通流を確保する渋滞対策などを推進する。

(1) 安全安心な暮らしの実現

- 1) 歩行者の安全・安心な通行空間の確保
- 2) 自転車の安全で快適な通行空間の確保

(2) 地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

- 1) 地域の個性ある発展を支える幹線道路網の整備
- 2) 街路網の整備推進
- 3) 渋滞対策の推進
- 4) 問題踏切の解消
- 5) 生活道路の整備推進
- 6) 「道の駅」の整備

(3) 都市の環境改善

- 1) 無電柱化の推進

(1) 安全安心な暮らしの実現

1) 歩行者の安全・安心な通行空間の確保（各市町の通学路交通安全プログラム）

通学児童の安全を確保するため、学校、警察、道路管理者等が連携して各市町が策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路において歩道整備等の交通安全対策を計画的に推進する。

【主な事業実施箇所】

- | | | |
|------|---------------------|--------|
| [継続] | ・ 県道 大沢西宮線 [甕岩町] | (西宮市) |
| | ・ 県道 神戸加東線 [山国] | (加東市) |
| | ・ 県道 西脇八千代市川線 [下牛尾] | (市川町) |
| | ・ 国道 178 号 [芦屋] | (新温泉町) |
| [完了] | ・ 県道 西脇八千代市川線 [上瀬加] | (市川町) |



歩道整備
国道 429 号（宍粟市）

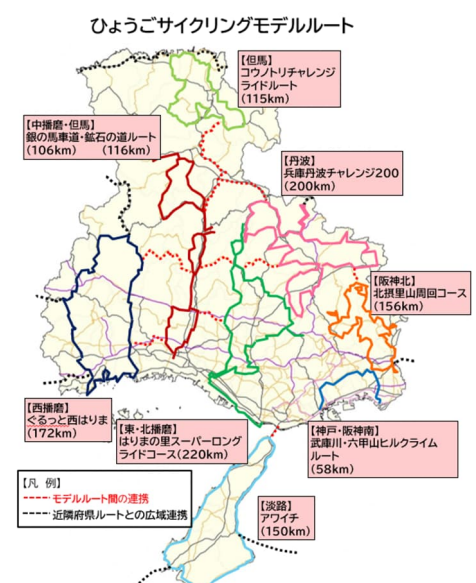
2) 自転車の安全で快適な通行空間の確保

（兵庫県自転車活用推進計画（R6～R15））

①自転車活用の推進

「兵庫県自転車活用推進計画」に基づき自転車の活用を総合的かつ計画的に推進するとともに、計画に位置づけた「ひょうごサイクリングモデルルート」において、走行環境整備等を推進し、質の高いサイクリング環境を創出していく。

特に、淡路島を一周するモデルルート「アワイチ」については、国のナショナルサイクルルート指定を視野に入れた整備を推進する。



②自転車通行空間整備の推進

自転車の安全で快適な通行を確保するため、中高生の自転車通学の利用状況等を踏まえて、自転車通行空間整備を計画的に推進する。

【主な事業実施箇所】

- 〔継続〕 ・ 県道 尼崎停車場線（尼崎市） 【自転車道】
・ 県道 山本伊丹線（伊丹市） 【自転車専用通行帯】
・ 国道 427 号（西脇市） 【車道混在】



自転車道

県道 尼崎停車場線（尼崎市）



自転車専用通行帯

県道 山本伊丹線（伊丹市）



車道混在

国道 427 号（西脇市）



路肩拡幅

県道 本荘平岡線(加古川市)

トピックス④

県道奥山精道線における交通安全対策の策定 ～ライト坂安全ビジョン～

県道奥山精道線のライト坂では、芦有ドライブウェイを下りてきた車により、フェード現象※に起因するとみられる事故が、令和2～5年にかけて7件発生しました。

令和5年度に、ライト坂の安全を望む市民の声をきっかけに安全対策協議会を設置し、関係者で対策を検討してきました。

令和6年9月に、各種安全対策をビジョンとして取りまとめ、警告看板の設置や地域等と協働した啓発運動等のソフト対策にも取り組むとともに、防護柵の強化、ボラードの設置等のハード対策を12月に完了しました。

取組の効果として、下り坂での平均速度の低下やエンジンブレーキ使用回数の増加等、一定の効果を確認しました。

今後も毎年報告会を継続開催し、取組の状況について関係者と共有していきます。

【交通安全対策協議会】

構成員：地域住民、地元の学校園、関係団体、芦屋市、警察、県等

開催回数：協議会3回、勉強会5回

※ 長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けることにより、ブレーキがきかなくなる現象



協議会開催状況



啓発運動の様子



強化した防護柵

(2) 地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備

1) 地域の個性ある発展を支える幹線道路網の整備

地域産業の活性化、地域間の連携強化、防災機能の強化等を図るため、幹線道路網等の整備を計画的に推進する。

【主な事業実施箇所】

- [継続] ・国道 176 号 [名塩道路] (直轄) (西宮市～宝塚市)
・国道 2 号 [和坂拡幅] (明石市)
・県道 宗佐土山線 [天満大池バイパス] (稲美町)
・国道 372 号 [加西バイパス] (加西市)
・県道 加美八千代線 [三室バイパス] (多可町)
・県道 広畑青山線 [夢前川右岸線] (姫路市)
・国道 2 号 [相生有年道路] (直轄) (相生市～赤穂市)
・県道 竜泉那波線[二期] (相生市)
・県道 赤穂佐伯線[南] (赤穂市)
・県道 上福原佐用線[西山] (佐用町)
・国道 179 号 [太子道路] (太子町～たつの市)
・国道 429 号 [千種Ⅱ] (宍粟市)
・県道 養父宍粟線 [由良] (養父市)
・県道 篠山山南線 [黒田バイパス] (丹波篠山市)
・国道 429 号 [榎峠バイパス] (丹波市)
・国道 28 号 [洲本バイパス] (直轄) (洲本市)
・県道 福良江井岩屋線 [湊] (南あわじ市)
[完了] ・県道 三田西インター線 (三田市) <令和 7 年12月供用予定>
・県道 小野藍本線 [松沢バイパス] (加東市) <令和 7 年10月18日供用>



県道 三田西インター線 (三田市)



県道 小野藍本線
[松沢バイパス] (加東市)

2) 街路網の整備推進

渋滞解消による交通円滑化や歩行者・自転車の安全の確保及び都市の防災機能の向上を図るため、街路網の整備を計画的に推進する。

【主な事業実施箇所】

- [継続] ・都市計画道路 園田西武庫線 [藻川] (尼崎市)
・都市計画道路 中筋伊丹線 [中筋] (宝塚市)
・都市計画道路 塚口長尾線 [昆陽南] (伊丹市)
・都市計画道路 西脇上戸田線 [東本町] (西脇市)
・都市計画道路 国道線 [姫路東] (姫路市)



都市計画道路
園田西武庫線御園工区
(尼崎市)

3) 渋滞対策の推進

交通渋滞の解消・緩和のため、渋滞箇所において、右折車線設置やバイパス整備等を推進する。

また、スマートフォンから得られる位置情報データを基に、人や車の移動経路等を詳細に分析し、新たな視点での渋滞対策を検討する。

【主な事業実施箇所】

- 〔継続〕 ・都市計画道路 国道2号線〔加古川橋西詰交差点〕（加古川市）
 ・県道 大江島太子線〔下太田交差点〕（姫路市）

トピックス⑤

都市計画道路 園田西武庫線（御園工区）の開通

尼崎市北部を東西に走る園田西武庫線は、国道2号、国道43号等の東西主要幹線道路を補完する道路として整備を進めています。令和7年3月23日に御園工区（約0.9km）が開通し、周辺交差点において渋滞長が最大で380m減少するなど事業効果が発現しています。

更なる交通の円滑化や都市防災機能の向上を図るため、残る藻川工区の早期完成に向け、整備に取り組んでいます。藻川工区が完成し、園田西武庫線が全線開通すれば、当該区間の所要時間について、南北の迂回ルートに比べ、約6分短縮されます。



トピックス⑥

ビッグデータを活用した渋滞対策

近年の情報通信技術の進展により、人の位置情報データ等を取得することが可能となっていることから、令和6年度から携帯電話の位置情報を活用した渋滞対策の検討に取り組んでいます。

携帯電話の位置情報もとに県内の交通流動を再現し、宝塚市街地における車両の移動経路等を分析した結果、南側の西宮市域から宝塚市街地へ流入する車の一定数が、県道生瀬門戸荘線等の道路を北上し、主要渋滞箇所である宝塚市役所前交差点を經由していることが確認できました。4車線拡幅事業が完了した尼崎宝塚線等の交通容量に余裕のある別ルートへ経路変更を促せば、宝塚市役所周辺の渋滞緩和が期待できるため、迂回を誘導する標識を設置し、道路利用者に移動経路の変更を促します。



4) 問題踏切の解消

①連続立体交差事業の推進

開かずの踏切等による交通渋滞の解消や駅周辺のまちづくりのため、連続立体交差事業を推進する。

a JR山陽本線東加古川駅付近（加古川市）

- ・平成30年度～令和元年度に事業調査^{※1}を実施
- ・令和2年度から着工準備^{※2}に着手

b 山陽電鉄本線高砂駅～荒井駅付近（高砂市）

- ・令和2年度～令和3年度に事業調査^{※1}を実施
- ・令和4年度から着工準備^{※2}に着手

※1 事業調査：着工準備に向けた基本的な計画策定

※2 着工準備：事業着手に向けた調査・設計、都市計画決定



山陽電鉄本線高砂駅～荒井駅付近
（高砂市）

②踏切対策の推進

踏切による渋滞の解消や歩行者の安全確保を図るため、立体交差化や踏切部の歩道拡幅等を推進する。

【主な事業実施箇所】

〔継続〕 ・ 県道 太子御津線〔茶ノ木踏切〕（姫路市）

5) 生活道路の整備推進

生活道路の安全確保と通行支障箇所の早期解消のため、待避所設置や側溝蓋掛け等による通行空間の確保など地域の課題やニーズにきめ細かに対応する即効性の高い対策を推進する。



【主な事業実施箇所】

〔継続〕 待避所設置 ・ 県道 洲本松帆線〔榎列掃守〕（南あわじ市）

待避所設置
県道 洲本松帆線
（南あわじ市）

6) 「道の駅」の整備

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、活力ある地域づくりを行うための「地域の連携交流機能」を併せ持つ「道の駅」の整備を進めている。

また、国が推進する「防災道の駅」をはじめ、防災拠点機能の強化については、地域の防災力の強化にもつながるため、積極的に市町へ働きかけていく。

県内での登録数 36 駅

- ・ 県管理道路沿道 21 駅（うち道路管理者との一体型[※] 13 駅）
- ・ その他の道路沿道 15 駅（県道路公社、国土交通省、神戸市）

※道路管理者（駐車場、トイレ等）と市町（地域振興施設等）が連携し、一体的に整備する道の駅

【主な事業実施箇所】

〔継続〕 新規整備 ・ （仮称）道の駅「姫路」 【一体型】（姫路市）

〔完了〕 既設リニューアル ・ 道の駅「うずしお」 【単独型】（南あわじ市）

<令和7年10月19日オープン>

「道の駅」の取組

「道の駅」は制度創設から 30 年以上が経過し、当初は道路利用者の休憩施設としての位置付けでしたが、現在では第 3 ステージとして、地域創生・観光を加速化する拠点の役割も必要となっています。また、令和 6 年 1 月の能登半島地震では防災拠点として、大きな役割を果たしました。

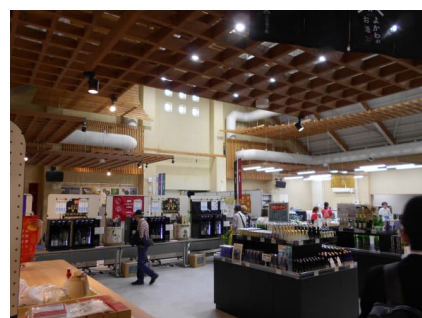
現在、全国で 1,230 駅、県内 36 駅が登録されており（令和 7 年 6 月時点）、全国で 7 位、近畿地方では和歌山県と並んで 1 位と、多くの道の駅があり、各駅で様々な取組がなされるとともに、それぞれの道の駅の連携や更なる機能充実が期待されています。

【ニュース①】道の駅「よかわ」オープン

道の駅「よかわ」は、令和 7 年 4 月 22 日に県内で 36 番目に誕生した道の駅です。

地域の特産品などが購入できる「山田錦の館」では、生産量日本一を誇る三木市の酒米『山田錦』を使った日本酒がずらりと並び、試飲コーナーでの飲み比べも楽しめます。

天然炭酸泉の「吉川温泉よかたん」も隣接しており、地域活性化の拠点としても期待されています。



道の駅「よかわ」（三木市）

【ニュース②】道の駅「うずしお」リニューアルオープン

令和 5 年 1 月からのリニューアル工事が完了、令和 7 年 10 月 19 日から道の駅「うずしお」が営業を再開しました。

今回のリニューアルを機に、仮店舗として営業していた「うずまちテラス」とシャトルバスで結ばれ、一体的な道の駅に生まれ変わりました。

今後、現在整備中の大鳴門橋自転車道の入口にも近く、徒歩や自転車で鳴門海峡を渡って四国との玄関口として、地域観光の拠点となることが期待されています。



道の駅「うずしお」（南あわじ市）

【ニュース③】第 13 回全国「道の駅」シンポジウム in 丹波の開催

令和 7 年 11 月 1 日に開催する本シンポジウムは、「道の駅」が抱える課題や将来の展望を紹介し、「まちぐるみ」での取組をいかに進めるか、好事例を共有しながら、参加者と共に考え、議論します。

会場：丹波の森公苑

内容：シンポジウム（第 3 ステージ実現に向けた取組紹介等）

民間企業の技術・製品展示会

県内の道の駅パネル展

道の駅祭り（県内や全国から道の駅 33 駅等が参加予定）



(3) 都市の環境改善

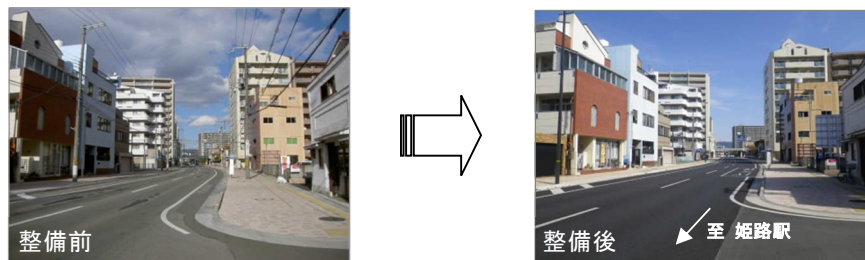
1) 無電柱化の推進（兵庫県無電柱化推進計画（R6～R10））

防災機能の強化、安全で安心な通行空間の確保、良好な景観形成等を目的として、「兵庫県無電柱化推進計画」に基づき、無電柱化を推進する。

【主な事業実施箇所】

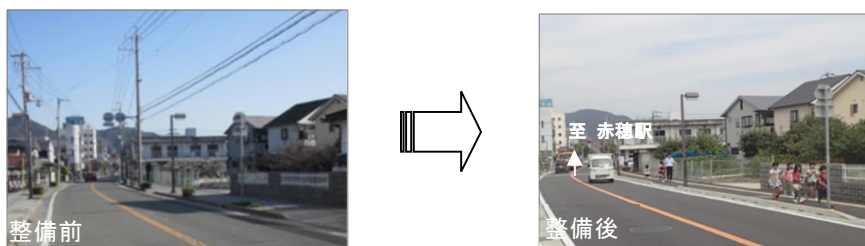
- [継続] ・ 県道 芦屋停車場線 (芦屋市)
・ 県道 生瀬門戸荘線 (宝塚市)
・ 県道 豊岡竹野線 [Ⅱ工区] (豊岡市)
[完了] ・ 都市計画道路 尾上小野線 [安田] (加古川市)

【防災機能の強化】



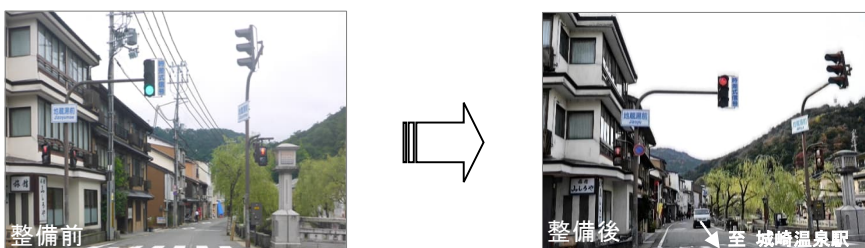
県道 姫路停車場線（姫路市）

【安全で安心な通行空間の確保】



県道 坂越御崎加里屋線（赤穂市）

【良好な景観形成】



県道 豊岡竹野線 [Ⅰ工区]（豊岡市 城崎温泉街）

無電柱化事業が城崎温泉街の火災鎮火の効果を発揮！

令和7年5月5日午前2時50分頃、豊岡市の城崎温泉街で火災が発生し、合わせて7棟に被害が発生しました。火災箇所が接道する県道 豊岡竹野線では、平成28年度から無電柱化事業に着手し、令和5年末には架空線及び電柱を撤去済であったことから、消防隊員から「はしご車の起塔作業時に架空線への接触注意が不要で、また、架空線を気にせず放水作業を実施することで、効率的な消防活動ができた」との声が聞かれ、無電柱化事業の効果が発揮されました。

当該箇所では、隣接区間でも無電柱化事業を実施中であり、歴史ある城崎温泉街の良好な景観形成および地域の防災力向上に引き続き取り組んでいきます。



Ⅲ【防災・減災】防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

切迫する南海トラフ地震等に対し、災害に強く安全で信頼性の高い道路ネットワークを構築するため道路防災事業等を着実に進める。特に、災害発生後の初期段階から交通の確保が可能となるよう緊急輸送道路等の整備を集中的に推進する。

また、減災のための情報発信や災害に備えた道路啓開訓練などのソフト対策に取り組む。

(1) 切迫する大規模地震に備える地震・津波対策

1) 道路防災の推進

(2) 発災後の迅速な復旧・復興を支える緊急輸送道路等の機能強化

1) 緊急輸送道路等の機能強化

2) 高規格道路ミッシングリンク解消等による道路ネットワークの強化（再掲）

(3) 減災のための情報発信等

1) わかりやすい規制情報等の提供

2) 道路啓開訓練

(4) 災害復旧

(1) 切迫する大規模地震に備える地震・津波対策

1) 道路防災の推進（ひょうご道路防災推進 10 箇年計画（R6～R15））

災害に強い安全な道路ネットワークを構築するため、「ひょうご道路防災推進 10 箇年計画」に基づき、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響の大きい道路の橋梁耐震補強や法面防災対策を推進する。

① 橋梁耐震対策

落橋・倒壊恐れのある橋梁のうち被災した場合に社会的影響が大きい15橋※や地震発生時に路面に段差が生じる恐れのある橋梁のうち緊急輸送道路上の124橋について、落橋防止装置や橋脚補強等の整備を進める。

※交通量1万台/日以上、100m以上の長大橋、跨道橋、跨線橋、落橋した場合に孤立集落が発生する橋梁

【主な事業実施箇所】

〔継続〕 ・ 国道 250 号 [播州大橋] (姫路市)



落橋防止装置・橋脚補強
国道 250 号 [汐見橋] (姫路市)

② 法面防災対策

防災点検に基づく要対策箇所のうち緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響が大きい道路※の342箇所について、落石防止網や落石防護柵等の整備を進める。

※ 交通量1万台/日以上の道路、被災すると孤立集落が発生する道路

【主な事業実施箇所】

〔継続〕 ・ 県道 宍粟下徳久線 (宍粟市)
・ 国道 429 号 (丹波市ほか)



法面安定工
県道 宍粟下徳久線 (佐用町)

(2) 発災後の迅速な復旧・復興を支える緊急輸送道路等の機能強化

1) 緊急輸送道路等の機能強化

①緊急輸送道路等の整備

災害発生後の初期段階から交通の確保が可能となるよう緊急輸送道路等の整備・強化を推進する。

【主な事業実施箇所】

- [継続] ・ 県道 川西篠山線[屏風岩] (猪名川町)
・ 国道 427 号 [西脇道路(上野)] (西脇市)



県道 川西篠山線 [屏風岩]
(猪名川町)

②道路防災の推進 (再掲)

2) 高規格道路ミッシングリンク解消等による道路ネットワークの強化 (再掲)

災害発生後の救急救命活動や緊急物資輸送等に必要な強靱な道路ネットワークの確保に向け、高規格道路のミッシングリンク解消を推進する。

(3) 減災のための情報発信等

1) わかりやすい規制情報等の提供

①道路情報総合管理システム

道路規制状況や積雪・冠水状況等をホームページに掲載し、情報配信している。また、台風等による災害発生時には規制箇所一覧と合わせて位置情報を提供している。



「道路総合情報管理システム」QRコード



インターネットによる道路規制情報の提供

②道路情報板等

災害等により、広域的な迂回が必要となった場合に、県内の広範囲の道路情報板を活用し、通行規制箇所や迂回路等の情報発信を行っている。

また、冠水の恐れのある道路アンダーパス部について、車両進入による水没事故を未然に防止するため、冠水情報板 (25箇所) や空気式遮断機 (5箇所) 等を設置している。

さらに、南海トラフ巨大地震等に備え、甚大な被害が想定される淡路島の南側沿岸部に、津波警報発表等と連動した津波情報板を整備するとともに、淡路島や瀬戸内海の沿岸にある標識柱等に海拔表示シートを設置している。



道路情報板 ※文字は表示イメージ



空気式遮断機



津波情報板 ※文字は表示イメージ

③ 事前通行規制※

県内では193区間の事前通行規制区間を設定している。令和6年5月28日の豪雨では、54区間のうち、2区間で倒木や土砂流出が発生したが、通行車両等の事故を未然に防止した。

参考：令和6年度事前通行規制実績 73区間
※地域毎の一定時間内基準累積雨量等による通行止め



倒木の状況
県道 野島浦線（淡路市）

2) 道路啓開訓練

災害対策基本法の改正（平成26年11月）により、大規模災害発生時は、道路管理者自らが、通行の支障となる放置車両の移動ができるようになったため、平成27年度から毎年、合同防災訓練の一環として、県警、JAF、兵庫県レッカー組合、建設業協会、自動車整備振興会、警備業協会等と共同で道路啓開訓練を実施している。

※令和6年度は、台風10号の接近に伴い中止



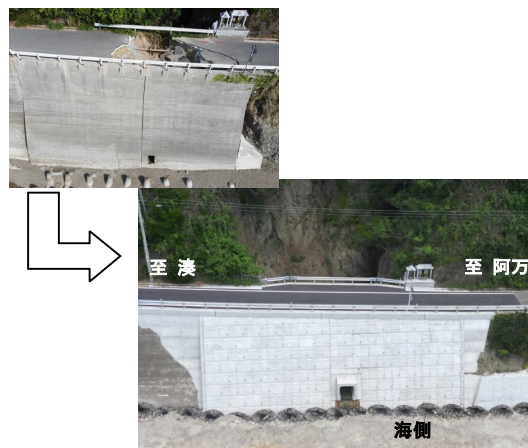
道路啓開訓練（令和5年9月3日）
（放置車両レッカー移動）

（4）災害復旧

自然災害により被災した道路施設は1日も早い復旧に努めている。

令和5年8月台風7号等において発生した道路災害31箇所については、令和6年度中に22箇所の復旧工事が完了し、残る9箇所を令和7年度中の完了に向け工事を進める。

なお、令和6年度8月台風10号において発生した道路災害1箇所は、令和7年9月に復旧工事が完了している。



県道 阿万福良湊線（南あわじ市）

国土強靱化対策の取組

県では、現在、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、道路法面の防災対策や橋梁の耐震強化、老朽化対策など、継続的に県土の強靱化に取り組んでいるところです。令和3年度から令和7年度までは、5箇年加速化対策予算を活用し、道路分野では、道路ネットワークの強化に約592億円、老朽化対策として約190億円の予算を確保し、13.1kmの道路改良や12橋の耐震補強を完了させるなど、県土の強靱化を図ってきました。

また、令和5年6月の国土強靱化基本法の改正により、計画期間、必要な施策の事業規模等を定める中期計画の策定が法定化され、令和7年6月「第1次国土強靱化実施中期計画」が策定されました。事業規模としては、「今後5年間でおおむね20兆円強程度を目途とし、今後の資材価格・人件費高騰等の影響については予算編成過程で適切に反映」されることとなっています。

近年、頻発化・激甚化する自然災害に対し、県民の安心・安全を確保するためには、継続的に国土強靱化対策を実施することが重要です。そのためにも、「第1次国土強靱化実施中期計画」の実施に必要な予算確保を国に要望していきます。



道路分野における主な対策実績 (R7年4月時点)		
分 野	工種、施設	箇 所 数
ネットワークの強化	道路改良	17路線(延長13.1km)
	橋梁耐震補強	12橋
	法面防災対策	128箇所
老朽化対策	橋梁	330橋
	舗装	373km
	トンネル覆工	9箇所
	横断歩道橋	78箇所
	道路附属物	850基
	道路法面施設	147箇所

老朽化対策



Ⅳ【持続】老朽化対策や脱炭素化への取り組み等による持続可能な社会の実現

社会基盤施設の老朽化の割合が急増する中でも良好な施設機能を維持するため、橋梁などをはじめとした道路施設の計画的な老朽化対策、地域のニーズ等に応じた歩道橋などの撤去、道路の除草・樹木剪定、舗装修繕など適切な日常維持管理を推進する。また、カーボンニュートラルの実現に向けた道路の取組や、インフラ分野のデジタル化・スマート化を推進する。

- (1) 計画的・効率的な老朽化対策
 - 1) 老朽化対策の実施
 - 2) 施設の統廃合
 - 3) 安全安心な日常維持管理の実施
- (2) 官民連携（参画と協働による維持管理）
- (3) カーボンニュートラルの実現
 - 1) カーボンニュートラルポートの形成支援
 - 2) 脱炭素を目指す道路の取組
- (4) インフラ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

(1) 計画的・効率的な老朽化対策

1) 老朽化対策の実施

①ひょうごインフラ・メンテナンス 10 箇年計画(R6～R15))

橋梁やトンネルなど道路施設の安全性の確保はもとより、総コストの低減と予算の平準化を図り、計画的・効率的な老朽化対策を推進する。

〔道路施設の老朽化対策実施箇所数〕

施設名		施設数	10 箇年で 取り組む 箇所数
①橋梁		4,672 橋	465 橋
②舗装		4,100 km	950 km
③トンネル	覆工	114 箇所	15 箇所
	設備	114 箇所	50 箇所
④アンダーパス		16 箇所	5 箇所
⑤横断歩 道橋等	横断歩道橋	191 箇所	130 箇所
	組立歩道	12.8 km	5.6 km
⑥道路附属物 (道路照明灯等)		18,734 基	5,130 基
⑦道路法面施設		20,702 箇所	400 箇所
⑧大型カルバート		13 箇所	4 箇所
⑨シェッド		5 箇所	4 箇所

【主な事業実施箇所】

〔継続〕

- ・国道 482 号 [久斗トンネル] (豊岡市)
- ・県道 豊岡竹野線 [城崎大橋]旧橋撤去 (豊岡市)

【修繕前】



【修繕後】



県道 白浜姫路停車場線 [阿保橋] (姫路市)

②定期点検に基づくメンテナンスサイクルの実施

平成26年7月に施行された「道路法施行規則の一部を改正する省令」により、橋梁やトンネル等の道路施設を対象に、適正な技能を有する者が近接目視による点検を5年に1回の頻度で行うことが義務づけられ、令和元～5年度の2巡目の点検が完了した。令和6年度からは、引き続き3巡目の点検を実施している。また、補修が必要とされた橋梁については、計画的に修繕していく。

「点検・診断・措置・記録(メンテナンスサイクル)」を計画的に実施し、健全な道路構造物の保全に努めていく。

<Ⅲ判定橋梁修繕の進捗状況

(令和6年度末時点)>

<橋梁の点検結果(令和6年度末時点)>

施設名	点検年次	点検結果				
		判定区分				合計
		I	II	III	IV	
橋梁	1 巡目 (H26～H30)	1,066	3,038	462	0	4,566
	2 巡目 (R1～R5)	618	3,815	198	0	4,631
	3 巡目 (R6～R10)	98	527	25	0	650

Ⅲ判定の割合 (%)	Ⅲ判定箇所着手率 (%)	Ⅲ判定箇所完了率 (%)
10.1%	100.0%	98.7%
4.3%	91.9%	63.6%
3.8%	0.0%	0.0%

区 分	定 義
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態



橋梁点検車による点検

③播但連絡道路、遠阪トンネルの安全・安心で快適な道路環境の確保

将来にわたり安全・安心で快適な自動車専用道路としてサービスを安定的に提供するため、播但連絡道路の大規模修繕、橋梁耐震対策を計画的に実施するとともに、遠阪トンネルの老朽化対策の検討を進める。

【主な事業実施箇所】

〔継続〕 ・第6・7高架橋 [山陽新幹線北側] (姫路市)
・遠阪トンネル (丹波市・朝来市)

2) 施設の統廃合

老朽化が著しく、また、通学児童の利用が無くなるなど建設当時の必要性が失われている 歩道橋などの道路施設について、社会情勢の変化や地域のニーズを踏まえ、関

係者等との調整の上、撤去を検討する。

【主な事業実施箇所】

〔継続〕 ・ 国道 427 号 [上野歩道橋]

(西脇市)

トピックス⑩

城崎大橋の供用開始

但馬北部を東西に結ぶ県道豊岡竹野線のうち一級河川円山川を渡河する「城崎大橋」は、架橋から 70 年近く経過しており、狭小幅員（4.5m）・大型車通行制限（10 t）の解消、円山川の治水安全度の向上などを目的に架替工事を進めてきました。

城崎温泉への新たなゲートウェイに相応しいシンボリックな橋梁として、令和 7 年 5 月 31 日に供用を開始しました。

【城崎大橋の整備効果】

①安全・安心

- ・ 橋脚の少ない新橋の整備と旧橋の撤去により、円山川の治水安全度が向上
- ・ 北但大震災から 100 年、地震にも強い橋が誕生

②観光周遊

- ・ 観光バス等の移動距離が短くなり、「城崎温泉～玄武洞」の周遊性が向上

③スポーツ振興

- ・ 旧橋の撤去により、直線 2,000m のローイング（ボート）コースが設定可能

※大型車通行制限による迂回が不要となり、15 km⇒6 kmに短縮



3) 安全安心な日常維持管理の実施

①舗装修繕などの実施

道路の舗装修繕、除草などの日常的な維持管理については、限られた予算の中、修繕範囲や実施時期の工夫により、管理水準の確保に努めている。また、道路パトロールを原則1日1回実施し、緊急対応が必要な箇所の部分的な修繕等を行いながら適切な維持管理を進める。



道路パトロールによる路面補修

②冬期の交通対策

但馬地域を中心とする県北部において、冬季の降雪や路面凍結による交通障害を防止するため、消雪工、積雪センサー等の施設整備を行うとともに、除雪作業や積雪情報の提供を迅速かつ的確に行う。

また、将来の安定的な除雪体制の確保を目的に、「但馬地域除雪体制検討会」を設置し、除雪業務に関する課題とその対応について検討を進めている。

【主な事業実施箇所】

- 〔継続〕 除雪 ・ 国道 178 号 (新温泉町～豊岡市)
消雪工 ・ 国道 482 号 (豊岡市)



除雪状況

山陰近畿自動車道〔浜坂道路〕(新温泉町)



消雪工

国道 178 号 (豊岡市)

③道路区画線の引き直し・通学路の除草などの実施

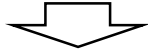
令和4年度から県民の安全安心に直結する日常維持管理の財源となる県単土木費を充実させ、目に見える形での管理水準の向上を図っている。

<道路区画線の引き直し>

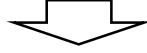
- ・正面衝突など重大な事故につながる箇所等：令和3年度時点で引き直しが必要と判断したセンターラインなどの区画線を5年間で引き直す(3,000km)

<通学路等の年2回の除草>

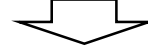
- ・通学路や交差点周辺など交通安全上重要な箇所：年1回から年2回除草に変更
- ・中央分離帯など除草作業時の危険回避や省力化を図れる箇所：張りコンクリートを実施



＜道路区画線の引き直し＞
県道 尼崎宝塚線（宝塚市）



＜通学路等の除草＞
県道 川西篠山線（川西市）



＜中央分離帯の張りコンクリート＞
県道 川西インター線（川西市）

トピックス⑪

除雪体制確保に向けた取組

但馬地域除雪体制検討会では、持続可能な除雪体制の維持に向けて、建設業協会と県や国・市町が具体的な取組を議論しています。

具体的には、「Ⅰ．人材確保、育成、定着」「Ⅱ．生産性向上」「Ⅲ．除雪機械の確保と維持」「Ⅳ積算・発注方法」の主に4つの課題解決に向けた対応を検討しています。

令和6年度から資格取得支援などの人材確保に向けた取組をはじめたほか、令和7年度から県所有貸与機械の増加や固定損料の増額などの除雪機械確保の対策を実施するなど、継続して取り組んでいます。

構 成 員：建設業協会、県（道路保全課、但馬3土木事務所）

オブザーバー：国土交通省（豊岡河川国道事務所）、但馬3市2町

開催状況：令和6年度に2回、令和7年度に1回開催

その他に、地区部会を南但、美方、豊岡で開催



但馬地域除雪体制検討会



除雪オペレーター研修会

新たな課題に対応した維持管理の取組

下水道管の破損による道路陥没事故、人件費や資材価格の高騰などの社会を取り巻く状況が変化しています。それらの新たな課題に対応するための道路分野における維持管理の取組を紹介します。

○道路陥没の未然防止のための路面下空洞調査

道路陥没事故を未然に防ぐため、河川・海岸沿いの兼用護岸や占用物の多い都市部の道路から順次路面下空洞調査を実施しています。

今年度は、埼玉県八潮市の陥没事故を踏まえた緊急道路パトロールで把握したくぼみ箇所等の路面下空洞調査（159箇所）を実施する予定です。



路面下空洞調査イメージ

県道明神安乎線
(淡路市)

○倒木事故を踏まえた街路樹の緊急点検

令和6年度に街路樹の腐食や内部空洞化による倒木事故が神戸市などで発生しました。

このため、県下約44,000本の街路樹の緊急点検を実施中であり、年内に点検が完了予定です。

点検では、目視点検、ぐらつき点検、打診または貫入試験を行い、樹木の健全性を判定します。また、点検実施に際して、土木部職員が自作したカルテ作成のアプリを活用し、省力化と効率化を図っています。



街路樹倒木（神戸市）イメージ

○新たな防草対策の試行（鉄鋼スラグ）

張りコンクリートの施工費用がこの3年で倍増しているため、より安価な製鉄副産物（鉄鋼スラグ）を活用した防草対策を試行しています。

令和6年度で4箇所試行しており、今後も試行箇所を拡大していく予定です。



県道加美穴栗線（神河町）

○ラジコン草刈機の試行

人手不足等を改善し、「新しい働き方」へ対応するため、高架下やIC部など広い場所での活用を想定し、ラジコン草刈機の活用を検討しています。

今年6月、山陰近畿自動車道佐津IC（香美町）で試行を実施しており、8種類のラジコンの性能を比較し、今後の活用可能性を検討します。



ラジコン草刈機



遠隔操作状況

（２）官民連携（参画と協働による維持管理）

①ひょうごアドプト

整備後の道路の草刈り、清掃、植栽等の簡易な維持管理では、「ひょうごアドプト」の制度を活用し、地域住民等の活動団体とのパートナーシップにより推進する。



県道 三田後川上線（三田市）

②道路愛護活動

県が管理する道路等において、地域住民等が自発的にボランティアで行う清掃等美化活動を支援する。

③道路施設ネーミングライツ

新行革プラン再点検に伴うネーミングライツの取組として、平成24年度から歩道橋を対象に、平成26年度からはトンネルを対象に加えて公募している。



県道 尼崎池田線（伊丹市）

（３）カーボンニュートラルの実現

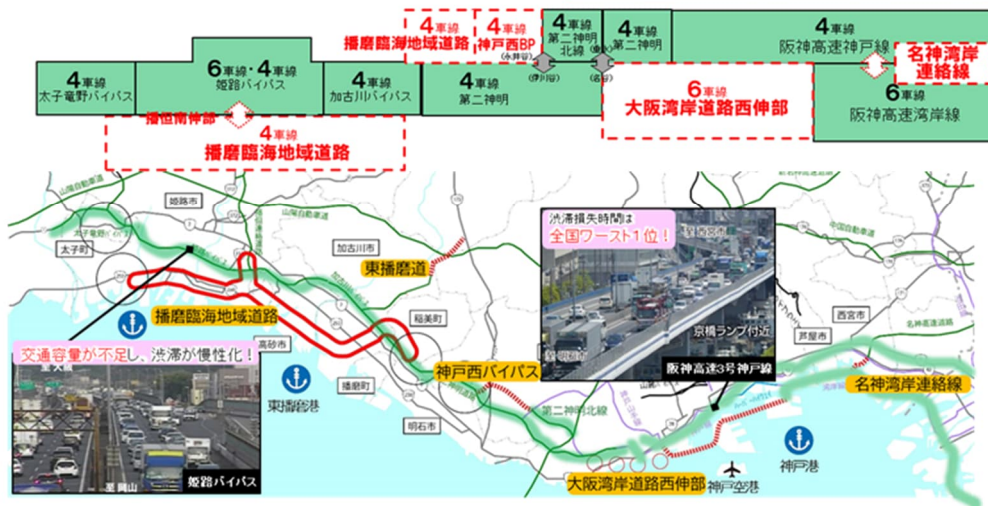
1) カーボンニュートラルポートの形成支援

①高規格道路の整備推進（再掲）

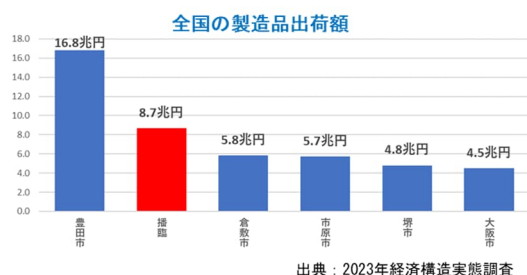
渋滞が著しい大阪湾と播磨灘臨海部において、ダブルネットワーク化に向けた高規格道路の整備により、ベイエリアの活性化やカーボンニュートラルポート形成の取組を支援する。

大阪湾ベイエリア・播磨臨海地域では、車線数の不足のため慢性的な渋滞が発生

- 渋滞解消や災害時のリダンダンシー確保のため、ラダー型ダブルネットワークの形成が必要



- 播磨臨海地域カーボンニュートラルポータルとの有機的な連携を期待



姫路港・東播磨港 港湾脱炭素化推進計画
(R6年12月策定)



2) 脱炭素を目指す道路の取組

SDGs に関連する幅広い施策が実施される中、特に環境への取組として、エネルギー効率、自転車活用の取組、道路交通の円滑化について推進する。

① トンネル照明等の LED 化

エネルギー効率向上の取組として、トンネル照明等のLED化を実施する。

【工事前】



【工事後】



県道 養父中央線 [明延トンネル] (養父市)

② 自転車活用の推進 (再掲)

二酸化炭素などの温室効果ガスを排出せず、環境にやさしい移動手段である自転車について、自動車からの利用転換をすることで、温室効果ガスの削減、環境負荷の低減を図ることが期待される。

③ 高規格道路の整備推進 (再掲)

高規格道路は一般道に比べて走行性が高いため、二酸化炭素排出量が少ないという特性がある。高規格道路ネットワークの整備を推進することで、生産性を高めるとともに、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出減少にも寄与していく。

④ 渋滞対策の推進 (再掲)

走行性が低下している渋滞箇所を解消することで、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出減少に寄与していく。

(4) インフラ DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進

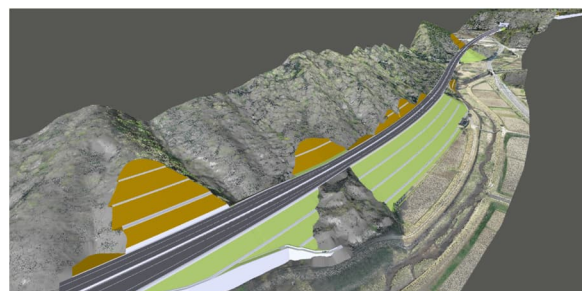
生産性向上と、インフラ建設・維持管理の効率化、デジタル社会に適応した働き方改革を進めるため、インフラ分野のDXを推進する。

① 道路整備工事における DX の取組

BIM/CIMモデル (3次元モデル) の導入、遠隔臨場の試行、ICT活用工事の拡充等に取り組んでいる。



国道 372 号 [加西バイパス]



山陰近畿自動車道 [竹野道路]

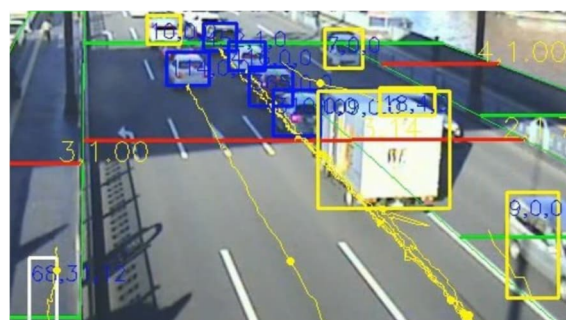
BIM/CIM モデル (3 次元モデル) を活用した事例

②橋梁点検や交通量調査における新技術の導入

近接目視が必要な橋梁点検におけるドローンを活用した点検や、ビデオ映像を用いたAI解析による交通量の計測など、新技術の導入による業務の効率化やコスト削減に取り組んでいる。



ドローンによる橋梁点検



ビデオ画像のAI解析による交通量計測のイメージ
(出典：国土交通省資料)

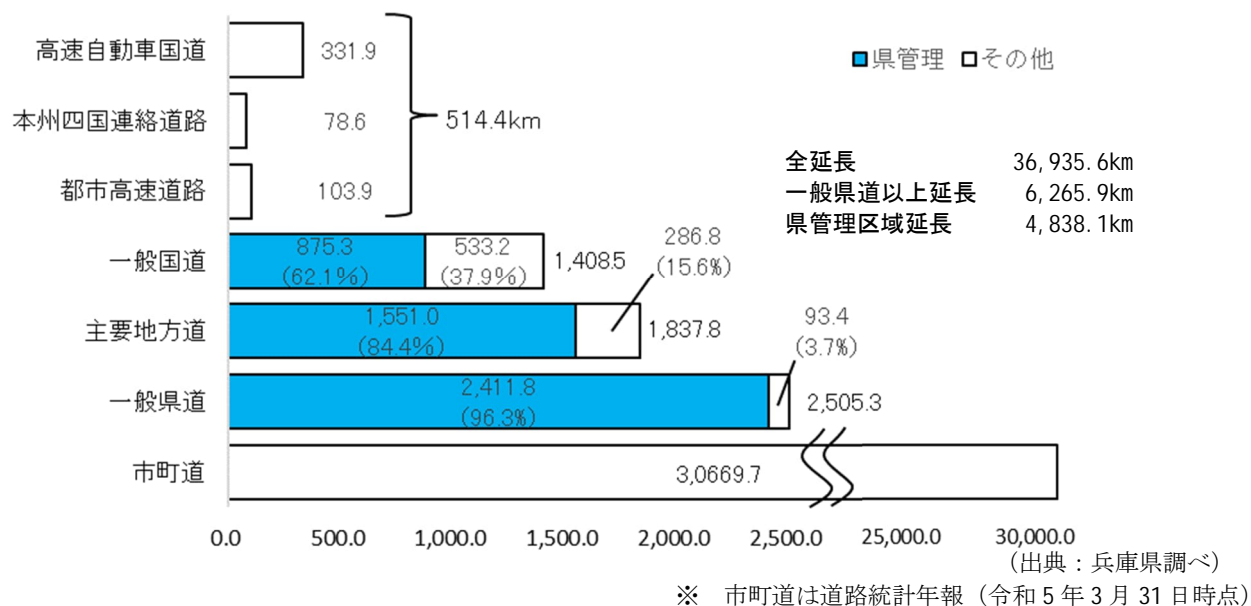
参考 道路整備の現況

(1) 道路整備の現況

1) 道路の延長

兵庫県内の全道路延長は、約36,940km。このうち一般県道以上の道路延長は約6,270kmで全体の約17%を占めている。その内訳は、高速自動車国道、本州四国連絡道路及び都市高速道路が約510km、一般国道約1,410km、主要地方道約1,840km、一般県道約2,510kmである。

このうち、兵庫県は一般国道約880km(約62%)、主要地方道約1,550km(約84%)、一般県道約2,410km(約96%)、計488路線 約4,840kmを管理している。



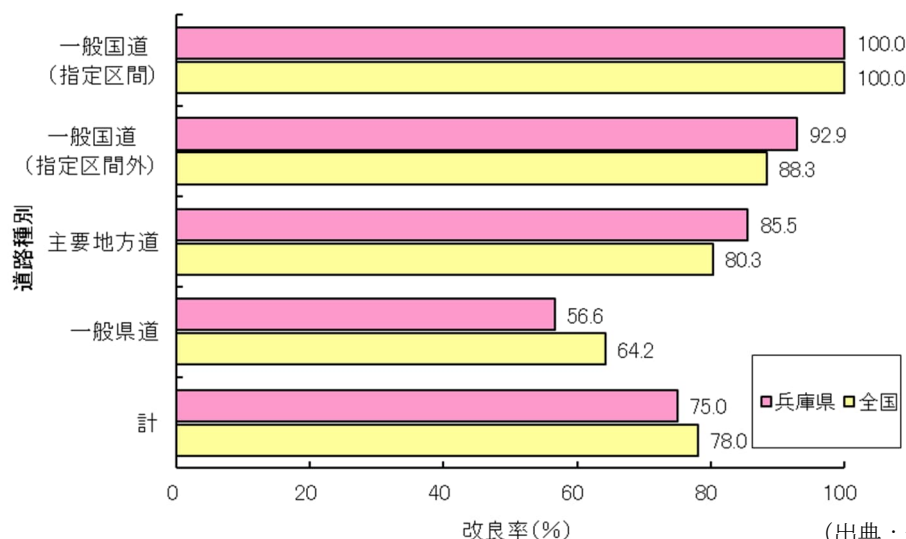
道路種別延長（令和6年4月1日時点）

2) 道路の改良率

兵庫県内の国道及び県道の改良率(2車線改良)は75.0%(全国平均78.0%)であり、基幹的な道路ほど高くなっている。

注) 改良率(2車線改良)：(車道幅員5.5m以上改良済延長／実延長)×100

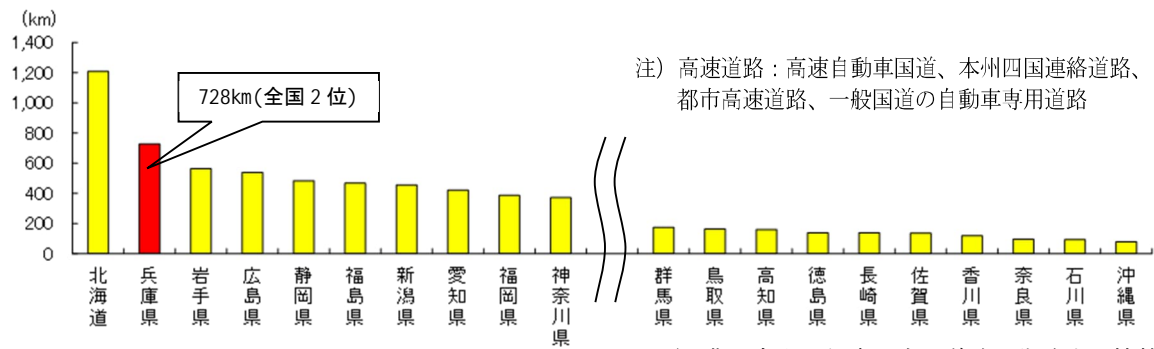
実延長：総延長から重用延長、未供用延長及び渡船延長を除いた延長



道路種別改良率（2車線改良）（令和5年3月31日時点）

3) 高速道路の延長

兵庫県内の高速道路延長は728kmであり、全国2位となっている。



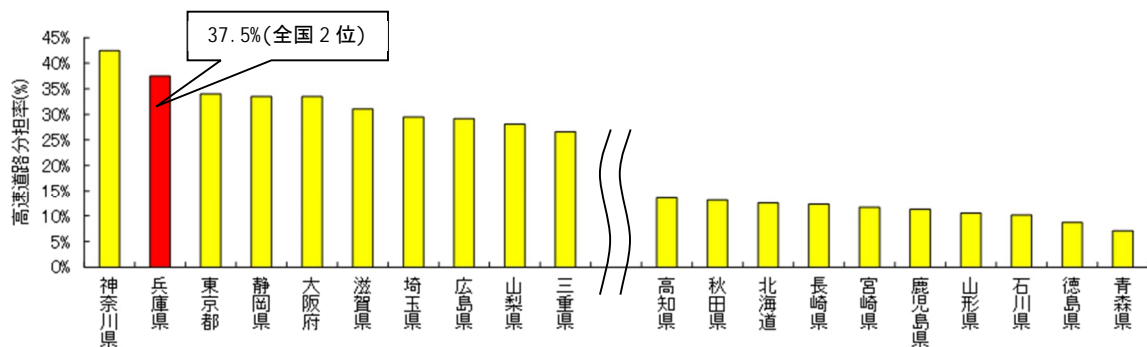
(出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査)

都道府県別高速道路延長（令和3年度）

4) 高速道路の利用状況

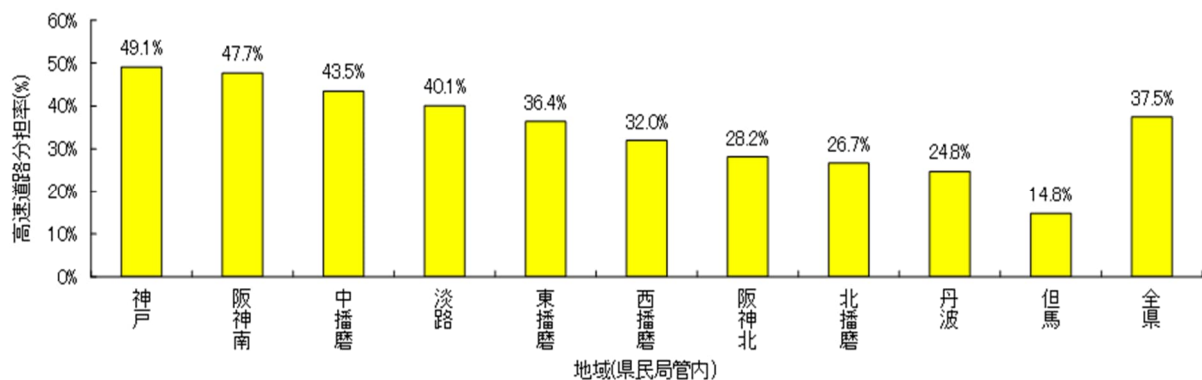
兵庫県内の高速道路分担率は37.5%であり、全国2位となっている。県民局別に見ると、高速道路の整備が遅れているため、但馬の高速道路分担率が一番低い。

注) 高速道路分担率：自動車の走行台キロに占める高速道路（一般国道以上の自動車専用道路）の走行台キロの割合



(出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査)

都道府県別高速道路分担率（令和3年度）

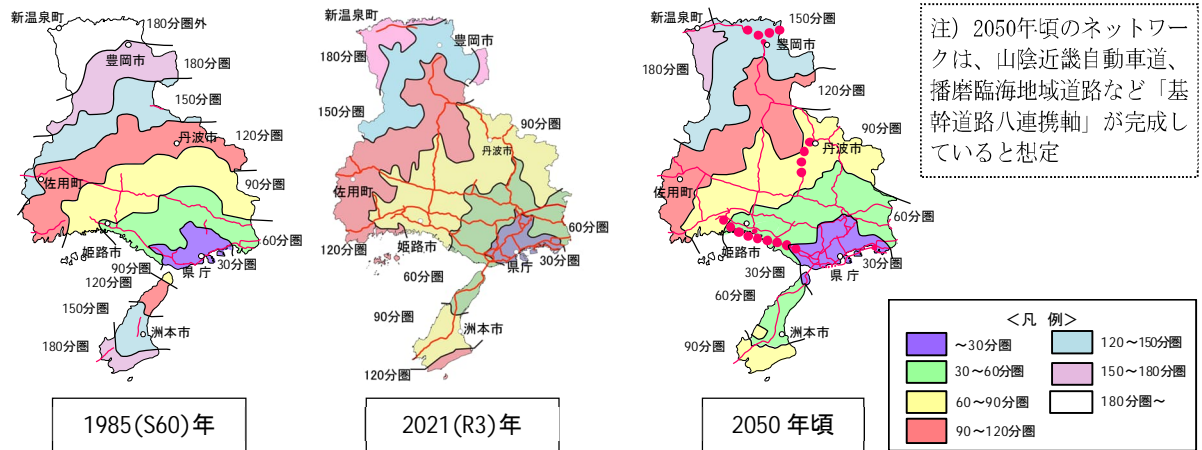


(出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査)

県民局別高速道路分担率（令和3年度）

5) 県内の移動時間の状況

自動車による県庁からの移動時間の圏域は、昭和 60 年に 150 分圏域であった洲本市などの淡路島の概ね全域が、明石海峡大橋の開通等により、90 分圏域内となっている。また、3 時間圏域外であった新温泉町などは、道路整備により移動時間が短縮し、令和 3 年時点で兵庫県全域が 3 時間圏域内となっている。今後、北近畿豊岡自動車道や山陰近畿自動車道の整備により、地域間の交流が促進される。



県庁からの等時間圏域図